



下通NSビル(COCOSA)

所在 熊本市中央区下通一丁目3番8号
施主等 株式会社櫻井總本店、株式会社南栄開発

部門賞
地域景観賞



熊本地震からおよそ1年後、ダイエー熊本下通店と櫻井總本店跡地に「下通NSビル(COCOSA)」がオープンした。すでに多くの熊本市民によって賑わっているが、この建築には、中心市街地のにぎわい施設が有すべき多くの特徴が備わっている。例えば、営業時間外も使える通り抜け通路は街の回遊性を向上させ、5階以上をセットバックさせ、総ガラス張りで分節された外観は、街への圧迫感を軽減しつつ、躍動感を与えている。また、旧ダイエー時代には全くの裏であった南西側も、建物の表としてしつらえ、周辺の歩道状の空地とともに、周辺街路にゆとりと明るさをもたらしめている。時にこの空地は、イベントのステージともなり、小さな祝祭空間ともなる。名前の由来ともなった童謡のように、人々から長く愛され、新しい熊本の文化がここから育っていくことが期待される。

(審査委員 星野 裕司)



阿蘇水掛の棚田

所在 阿蘇市山田1021番地ほか
施主等 公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金

部門賞
緑と水の景観賞



阿蘇北外輪山のふもとにあり、阿蘇五岳を臨む3.5ヘクタールの地に約68枚の棚田が広がる。毎分20トンの豊富な湧水量でくまもと名水百選にも選定された「乙川(おとごがわ)湧水群」の一角にあり、かつては上質の米の産地だったが、高齢化や後継者不足により耕作放棄地となり荒廃が進んだ。平成23年、地下水涵養を目的に阿蘇市と協定を締結し、約25年ぶりに「阿蘇水掛の棚田」として再生。毎年春と秋に、関係者、地元の人や小学生、大学生のボランティアが集い、手植えと手刈り・掛け干して汗を流している。地元で伝わる野草堆肥などの伝統的な環境にやさしい農法によって栽培された米は、熊本県の「地下水と土を育む農畜産物等認証」の農産物部門で第1号の認定を受けた。水源付近には手作りの木製のベンチが設けられ、立ち寄る人を優しく歓迎する。

(審査委員 吉村 尚子)

